松禪寺報

第 75 号

http://syozen.com
https://www.facebook.com/syozenji

発行日　平成 29 年 9 月 25 日

石室山 松禪寺

住職　髙橋　乾峰
〒 668-0363
兵庫県豊岡市但東町栗尾 469
電話　0796-55-0034
FAX　0796-55-0066
Mail　kenpou@syozen.com

（撮影：寺庭）

郷愁

この胸が、理由もなく懐かしい思いに
満たされる夕暮れ。
すべての人がやさしい思いやりにあふれた
すばらしい人たちであるかのように
感じられる黄昏。
もちろん、それは一時の思い過ごしだ。
誰よりも私自身、明日になれば
あくせくと時間に追われ
乾いた利己の心で一日を過ごすのだから。
けれども、暮れなずむ西の空を
眺めているとき
胸いっぱいに拡がるこの郷愁には
仏の教えにかかわる
小さな秘密が隠されているようだ。

台風接近も無事に施餓鬼会を厳修

初盆供養と檀信徒各家先祖供養を執り行いました

台風が近畿地方に接近した8月7日（月）、松禪寺では恒例の施餓鬼会を執り行いました。幸いに雨もなく天候も荒れずに無事執り行うことができました。午前10時から法要を行い、法類寺院や施餓鬼相互扶助の御寺院から、和尚様5人と住職、学徒（住職の兄）の計7人が出頭して厳修いたしました。施餓鬼会では檀信徒各位の先祖供養はもとより、今年は5霊位の初盆供養と養鶏組合の供養などを行いました。お参りの皆さんも和尚さん方も、汗びっしょりの施餓鬼会でした。

施餓鬼会は初盆供養という印象をお持ちですが、法要では檀信徒各家の先祖供養も行っています。初盆の霊位と共に、各家のご先祖様、有縁無縁の霊をも供養する施餓鬼会に、ぜひ来年も多くの皆様のお参りをお待ちいたしております。

▲暑い中、多くのお参りがありました＝８月７日

境内掃除へのご参加 ありがとうございました

お盆も間近に迫った7月30日（日）、今年二回目となる境内掃除を行いました。曇り空ではありましたが、わずか数分の作業でも汗だくになる気温のもと、午前8時から10時までの2時間、草刈りなどの作業に精を出して頂きました。

今回協力してくださったのは、総代（責任役員）さん5人をはじめ、上山根、下山根、貝田、平田、中路、宮本、樫谷隣保の各評議員さん7名と有志の皆さん3名、総勢15名の皆さんでした。お陰様で8月7日の施餓鬼会には、参拝者皆さんを気持ち良くお迎えすることができました。有り難うございました。

この作業を終えてから総代（責任役員）さん方には、総代会議と施餓鬼棚の組立など施餓鬼会の準備もお手伝いいただきました。

▲境内周辺の草刈りをしていただきました＝７月 30 日

▲施餓鬼棚を組み立てる総代さんたち＝７月 30 日

秋彼岸の供養を執り行いました

法要のほか米寿お祝いの伝達、ビデオ観賞など実施

晴れの穏やかな彼岸中日を迎えた9月23日、松禪寺では秋彼岸法要を執り行いました。いつものとおり、朝8時半から当番さんたちには斎座のお弁当づくりをお願いしました。

午前11時、総代さんの撞く大鐘の合図で法要が始まります。参拝者30人全員で読経、焼香をして先祖様に感謝の意を伝えます。

読経後は、米寿を迎えられた方に、妙心寺派管長様からの寿詞と記念品（輪袈裟）を伝達し、参拝者全員で祝いました。

▲手作りのお弁当をいただきました

▲参拝者全員で読経、焼香しました。

さて、斎座は本堂や薬師堂にお供えしたお膳と同じ食事を、参拝者全員でいただきます。実りの秋に、そして今ある命に感謝しながら味わいました。供養とは「食べる」ことでもあるのです。

食事の後は、ビデオの上映です。今回は、『里山～人と自然がともに生きる』を観賞しました。里山で繰り広げられる人と昆虫など生き物のつながりを、美しい映像を通して観ていただきました。

祖先が残したさまざまな命と暮らしに感謝した、お彼岸でした。

▲ビデオ観賞

米寿のお祝いを伝達しました

妙心寺派管長様より寿詞と輪袈裟の贈呈

▲ご夫婦で米寿を迎えられた藤田勝さん、幸枝さん

妙心寺派花園会本部への申請により、今年も米寿を迎えられた4名の方に、妙心寺派管長・嶺興嶽老大師より寿詞と輪袈裟をいただきました。誠におめでとうございます。松禪寺花園会からは、寿詞の額縁をそれぞれ贈呈させていただきました。

お家に長寿の方々が居られるのは家庭和楽のもとであり、一家繁栄の瑞兆とお祝い申し上げる次第です。ますますのご長寿を保たれるよう願ってやみません。

◎米寿

栗尾　藤田　勝様（昭和5年生まれ）
栗尾　藤田幸枝様（昭和5年生まれ）
平田　桒田　孝様（昭和5年生まれ）
佐々木　井上たみ枝様（昭和5年生まれ）

※お願い

檀信徒皆さま全員の生年月日は把握していません。今年米寿（数え、満年齢いずれも可）を迎えられる同居家族が居られましたら、ぜひ住職までお知らせ下さい。お祝いの品を妙心寺派花園会本部へ申請いたします。

達磨忌と開基・開山忌のご案内

松禪寺では左記のとおり達磨忌と開基開山忌を執り行います。どなた様もどうぞお参りください。お斎には、けんちん汁と茶めしをお出しいたします。

【ご案内】

日時　11月3日（金／文化の日）
午前8時半より当番の調理開始
午前11時より法要
正午頃に斎座
場所　松禪寺

護持会

会費（後期分）納入にご協力願います

9月は松禪寺護持会費の通常会費（後期分）をお願いする月です。松禪寺花園会は檀信徒の皆様方の、護持と発展を願う護持会費で運営しています。各評議員さんより納入の依頼がありますので、何卒ご協力の程よろしくお願いします。遠方の皆様には郵便局の払込取扱票をお送りいたします。

なお、賛助会員の方々へは本年2月に納入依頼済みですので、後期分の納入はございません。

玄関にスロープを設置します

歩行に障害をお持ちの皆さんや車椅子利用者の皆さんのために、玄関にスロープを設置するため、総代会でご協議いただき決定いたしました。どなた様もぜひご利用ください。

和尚のつぶやき

一日暮らしの教え

稲刈りも終盤に入り、夜には秋の虫の音も心地良い季節になりました。読書の秋でもありますが、蒸し暑くもなく、読み始めた本がいつの間にか墜落して朝を迎えることもあります。

8月下旬、外掃除をしていた兄が、蜂に刺されたと患部を冷やしていました。どこに巣があるのかと見上げれば、隠寮の軒天あたりに丸いスズメバチの巣がありました。お参りの人が刺されたら困るので、早速業者に依頼して取り除いてもらいました。やれやれと思っていたら、寺庭が鐘楼の屋根の一部から、盛んに蜂が出入りしていると言います。過去にも瓦の下の巣を取ってもらった経緯があります。今度は鐘楼ですから、お参りの人は必ずその下を通ります。これまた、業者に依頼しました。業者さん曰く、これは茶色スズメバチで、より攻撃性が強い種類とのこと。どうやら作務中の兄を襲ったのは、こちらの茶色スズメバチのようです。外に出ていた蜂が戻ってくるし、しばらく鐘は撞かない方が良いと言われ、そのようにしていました。蜂には悪いと思いますが、誰かが刺されたらと思い駆除しました。出費も嵩みましたが、自分で駆除する勇気は全く持ち合わせておりませんので、お許しを。

さて、あっという間に秋を迎え、すぐにお彼岸や法事が続きます。白隠禅師の師匠でもある道鏡恵端禅師（正受老人）は「いかほどの苦しみにても一日と思へば堪へやすし 楽しみも一日と思へば耽ることもあるまじ」と、一日暮らしを今に伝えられています。一日、一日を大切に務めてまいりましょう。

▲長野県飯山市の正受庵にて